

PAT-NO: JP410037495A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 10037495 A
TITLE: FRONT SPACE CONSTRUCTION AT INDOOR PIPE SHAFT
PUBN-DATE: February 10, 1998

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
KUWABARA, HIROAKI	

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
SEKISUI CHEM CO LTD N/A	

APPL-NO: JP08200043
APPL-DATE: July 30, 1996

INT-CL (IPC): E04H001/02 , E04F017/08

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To effectively utilize the front space of an indoor pipe shaft and make the appearance design excellent by installing a storage cabinet in a detachable manner in front of the indoor pipe shaft formed by partition boards built around a space for housing indoor pipe lines of a building.

SOLUTION: An indoor pipe shaft 1 is formed with a space housing indoor pipelines of a building with an interior wall panel 2 and partition panels 3, 3. The front construction of the indoor pipe shaft 1 is made by inserting and installing a storage cabinet 4 in a space surrounded by the front surface of the indoor pipe shaft 1 and the partition panels 3, 3, and the storage cabinet 4 is made in a detachable manner and has a swing door 41 and removable shelves 42. As stated above, by installing the storage cabinet 4 in front of the indoor pipe shaft 1, the front surface of the indoor pipe shaft can be hidden behind the storage cabinet.

COPYRIGHT: (C) 1998, JPO

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平10-37495

(43)公開日 平成10年(1998) 2月10日

(51)IntCl⁵

E 0 4 H 1/02

E 0 4 F 17/08

識別記号

庁内整理番号

F I

E 0 4 H 1/02

E 0 4 F 17/08

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数2 O L (全 4 頁)

(21)出願番号 特願平8-200043

(22)出願日 平成8年(1996) 7月30日

(71)出願人 000002174

積水化学工業株式会社

大阪府大阪市北区西天満2丁目4番4号

(72)発明者 桑原 弘明

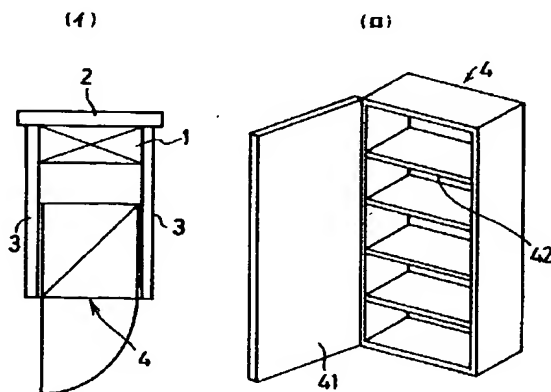
茨城県つくば市和台32 積水化学工業株式
会社内

(54)【発明の名称】 屋内パイプシャフトの前面空間構造

(57)【要約】

【課題】 屋内パイプシャフトの前面空間の有効利用を図ると同時に、外観デザインに優れた屋内パイプシャフトの前面空間構造を提供することである。

【解決手段】 本発明は、建物の屋内に管路を収納する空間部が間仕切り板3によって間仕切りされて形成された屋内パイプシャフト1の前面に、収納庫4を取り外し可能に設置してなる屋内パイプシャフト1の前面空間構造である。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 建物の屋内に管路を収納する空間部が間仕切り板によって形成された屋内パイプシャフトの前面に、収納庫を取り外し可能に設置してなることを特徴とする屋内パイプシャフトの前面空間構造。

【請求項2】 屋内パイプシャフトに隣接して住宅設備機器を並設してなることを特徴とする請求項1記載の屋内パイプシャフトの前面空間構造。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、住宅の屋内に設けられ、給排水、ガス等の各管路を収納する屋内パイプシャフトの前面空間構造に関する。

【従来の技術】従来、屋内パイプシャフトとして実開昭63-152848号公報に記載されて知られている。前記屋内パイプシャフトは、住宅の屋内に給排水、ガス等の各管路を収納する間仕切りされた空間部を形成するものである。この屋内パイプシャフトの前面には点検口が設けられている。この点検口を設けるには、前面の間仕切り板に開口された点検口を設け、この点検口の周縁に金属製の枠を取り付け、この枠に蓋板を嵌め込みビス等の固着具で着脱自在に取り付けられていた。

【0002】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記従来技術では、屋内パイプシャフトの前面は、デッドスペースとなって有効活用が図られていないという問題と、点検口の周縁に取り付けられた金属枠が周囲の間仕切り壁と異質なため目立ち、さらにこの点検口に蓋を取り付けるためのビスの頭が露出するので外観上好ましくないという問題があった。

【0003】本発明は上記の従来技術の問題を解決するためになされたものであって、本発明の目的は、屋内パイプシャフトの前面空間の有効利用を図ると同時に、外観デザインに優れた屋内パイプシャフトの前面空間構造を提供することである。

【0004】

【課題を解決するための手段】本発明は、上記目的を達成するためになされたものであって、請求項1の発明は、建物の屋内に管路を収納する空間部が間仕切り板によって形成された屋内パイプシャフトの前面に、収納庫を取り外し可能に設置してなることを特徴とする屋内パイプシャフトの前面空間構造である。

【0005】請求項2の発明は、屋内パイプシャフトに隣接して住宅設備機器を並設してなることを特徴とする請求項1記載の屋内パイプシャフトの前面空間構造である。請求項2記載の発明において、住宅設備機器とは、洗面化粧台、洗濯機や乾燥機、台所流し台、システムキッチン、各種収納庫等である。

【0006】

【作用】請求項1の屋内パイプシャフトの前面空間構造

は、屋内パイプシャフトの前面に、収納庫を設置してなるものであるから、屋内パイプシャフトの前面空間の有効利用を図ることができる。また、屋内パイプシャフトの前面を収納庫の背後に隠すことができ、外観デザインに優れたものとすることができる。さらにまた、収納庫は取り外し可能に設置されているので、配管点検時に収納庫を取り外せば、配管点検の支障になることはない。

【0007】請求項2記載の屋内パイプシャフトの前面空間構造は、屋内パイプシャフトに隣接して住宅設備機器を並設してなる請求項1記載のものであるから、居住に必要な生活用品や日用品等を収納庫に収納でき、使用に便利であると同時に、外観デザインに優れたものとするることができる。

【0008】

【発明の実施の形態】次に、本発明の実施の形態を図面を参照しながら説明する。図1は、本発明の一実施例であって、図1(イ)図は屋内パイプシャフトの前面構造を示す平面図、(ロ)図は(イ)図に示す収納庫の斜視図、図2は、本発明の別の実施例であって、屋内パイプシャフトの前面構造を示す平面図、図3は、本発明の他の実施例であって、洗面台が並設された屋内パイプシャフトの前面構造を示す平面図、図4は、本発明の他の実施例であって、洗面台とスライド収納庫が並設された屋内パイプシャフトの前面構造を示す平面図である。

【0009】図1～図4において、1は屋内パイプシャフト、2は壁体、3は間仕切りパネル、4は収納庫、5は洗面台、6は流し台である。

【0010】まず、本発明の一実施例を図1を参照して説明する。本実施例の屋内パイプシャフト1は、建物の屋内に管路を収納する空間部が建物の内壁パネル2(もしくは外壁パネル)と、間仕切りパネル3、3とによって、間仕切りされて形成されたものである。本発明に係る屋内パイプシャフト1の前面構造は、この屋内パイプシャフト1の前面と、間仕切りパネル3、3とによって囲まれた空間に収納庫4が挿入設置されたものであって、この収納庫4は、取り外し可能になされ、(ロ)図に示すように、開閉式の扉41と、可動棚板42が設けられている。

【0011】本実施例の屋内パイプシャフト1の前面空間構造は、屋内パイプシャフト1の前面に、収納庫4を設置してなるものであるから、屋内パイプシャフト1の前面空間の有効利用を図ることができる。また、屋内パイプシャフト1の前面を収納庫の背後に隠すことができ、外観デザインに優れたものとすることができる。さらにまた、収納庫4は取り外し可能に設置されているので、配管点検時に収納庫4を取り外せば、配管点検の支障になることはない。

【0012】つぎに、本発明の別の実施例を図2を参照して説明する。以下の実施例において、前記実施例と同じものは同符号を付け、異なるところだけ別符号を付

3

け、同符号の説明は省略し、別符号のものについて説明することとする。本実施例の屋内パイプシャフト1の前面空間構造は、平面視右側の間仕切りパネル3と、この間仕切りパネル3と直交し屋内パイプシャフト1の前面に設けられた間仕切りパネル31との間が開口され、この開口に収納庫4が挿入設置されているものであって、これによって、屋内パイプシャフト1の前面空間の有効利用を図ることができると同時に、外観デザインに優れたものとすることができる。

【0013】また、図3に示す本発明の他の実施例は、図1に示した屋内パイプシャフト1の前面構造の変形例であって、屋内パイプシャフト1に隣接して洗面台5を並設してなるものである。これによって、洗面に必要な日用品等を収納庫4に収納でき、使用に便利であると同時に、外観デザインに優れたものとすることができる。

【0014】さらにまた、図4に示す本発明の他の実施例は、図1に示した屋内パイプシャフト1の前面構造の別な変形例であって、屋内パイプシャフト1に隣接して右側に流し台6を、左側にスライド収納庫7を並設してなるものである。これによって、台所で使用する生活用品等を収納庫4とスライド収納庫7に収納でき、使用に便利であると同時に、外観デザインに優れたものとする

ことができる。

【0015】

【発明の効果】請求項1の屋内パイプシャフトの前面空間構造は、屋内パイプシャフトの前面に、収納庫を設置してなるものであるから、屋内パイプシャフトの前面空間の有効利用を図ることができる。また、屋内パイプシャフトの前面を収納庫の背後に隠すことができ、外観デ

4

ザインに優れたものとすることができる。さらにまた、収納庫は取り外し可能に設置されているので、配管点検時に収納庫を取り外せば、配管点検の支障になることはない。

【0016】請求項2記載の屋内パイプシャフトの前面空間構造は、屋内パイプシャフトに隣接して住宅設備機器を並設してなる請求項1記載のものであるから、居住に必要な生活用品や日用品等を収納庫に収納でき、使用に便利であると同時に、外観デザインに優れたものとする

ことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例であって、(イ)図は屋内パイプシャフトの前面構造を示す平面図、(ロ)図は(イ)図に示す収納庫の斜視図である。

【図2】本発明の別の実施例であって、屋内パイプシャフトの前面構造を示す平面図である。

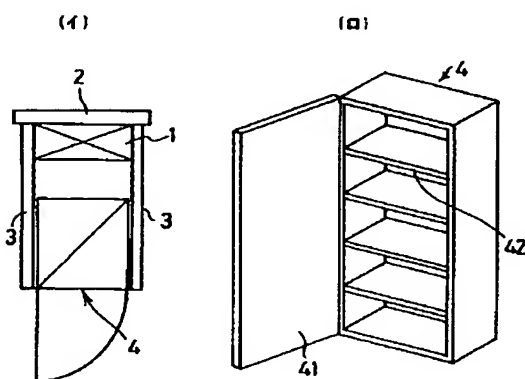
【図3】本発明の他の実施例であって、洗面台が並設された屋内パイプシャフトの前面構造を示す平面図である。

【図4】本発明の他の実施例であって、洗面台とスライド収納庫が並設された屋内パイプシャフトの前面構造を示す平面図である。

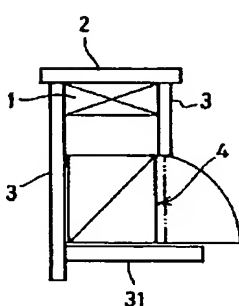
【符号の説明】

- | | |
|---|-----------|
| 1 | 屋内パイプシャフト |
| 2 | 壁体 |
| 3 | 間仕切りパネル |
| 4 | 収納庫 |
| 5 | 洗面台 |
| 6 | 流し台 |

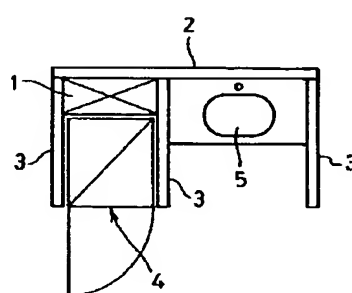
【図1】



【図2】



【図3】



(4)

特開平10-37495

【図4】

